



コウノトリやトキと共に生きる 自然豊かで魅力あふれる持続可能な 地域をめざして



出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会



協議会では、大きく4つのことをすすめます

◇コウノトリやトキと共に生きる環境をつくる

生きものを育む農業として農薬や化学肥料の使用を減らす方法や、土水路（よけじ）の維持管理・普及方法などについて考えます。休耕田の耕起や草刈りにより田んぼビオトープを作ったり、一年中、水をためる工夫をすることで、多様な生きものの生息地を広げます。



左：田んぼのよけじでドジョウを捕まえたコウノトリ

右：本協議会で試行している出雲市斐川町にある元休耕田の田んぼビオトープ

してみませんか？



【田んぼ】

- ・ 減農薬栽培、有機栽培
- ・ 土水路づくり
- ・ 中干しの延期、冬季湛水
- ・ 農産物の利用や企画、販売

【田んぼビオトープ】

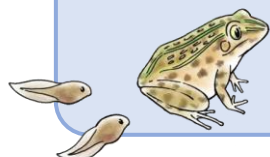
- ・ 休耕田の全面通年湛水、背の高い草を刈る

◇自然環境を把握する



専門家による定点調査や、簡易な方法による生きものの調査を普及し、多くの人々が自然環境の実態に直接触れる機会をつくります。また、市民参加による広域的な状況把握を目的とした一斉調査などを実施します。データは公表し、活動の見直しに活用します。

してみませんか？



- ・ 定点調査に協力する

- ・ ドジョウのトラップ調査をやってみる



◇豊かな自然環境や活動を伝える

共感を広めるためにインターネット等を通じて情報を発信します。また、理解を深めるためのシンポジウムや学習会、生きもの調査イベントなどを開催します。また、各種団体が開催する環境学習活動にアドバイスやコーディネートをしします。



ビオトープづくり学習会

してみませんか？



- ・コウノトリやトキについて調べてみる
- ・環境学習会や生きもの調査イベントなどに参加する
- ・環境学習会を開催してみる

◇環境づくりを通じた交流を促す



提供：里山笑楽校

生きものを育む活動に関する知識や体験を様々なかたちで提供し、体験型交流を入口として活動の意義を理解、共感してもらうことで、交流人口の増加や農産物の販売を促進します。そのために、体験型交流イベントの企画を支援します。

してみませんか？

- ・体験型交流イベントに参加する
- ・イベントを企画、運営、お手伝いしてみる
- ・地域内のお米や加工品を購入する



みんなで協力して取り組んでいます
みなさんの参加をお待ちしています！



生物多様性の保全

生きものたちの豊かな個性とつながりを「生物多様性」といい、ある範囲にすむ生きもの同士と、また、その生きものがすみかとする環境とのつながりを「生態系」といいます。

私たちの暮らしは、生態系から得られる恵み（生態系サービス）によって支えられており、生物多様性を保全することにより、人間もより安全で豊かな営みができるとされています。

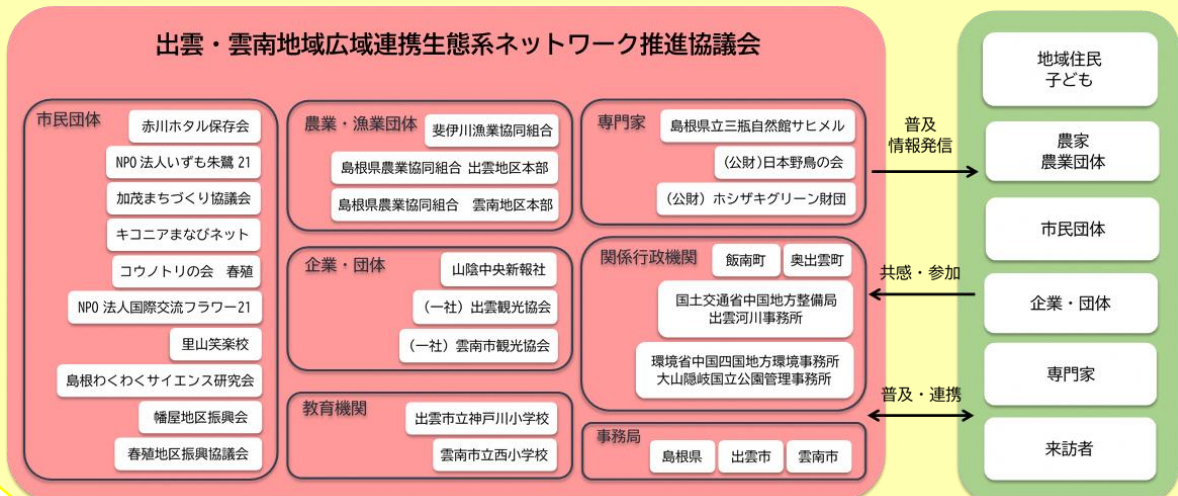
なぜコウノトリやトキなの？

生態系ネットワークとは、生物多様性が保たれた国土を実現するために、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、これらを有機的につなげる仕組みです。肉食の鳥であるコウノトリやトキは生態ピラミッドの頂点に立つ高次消費者であり、生態系の健全さを把握する目安となります。



出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク 推進協議会の推進体制

協議会には、農業・漁業団体、市民団体、企業・団体、専門家、教育機関、関係行政機関などさまざまな組織の人々が参画しています。



出雲・雲南地域
生物多様性連携保全活動計画（概要版）

令和3年3月発行

【発行】

出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク

推進協議会（事務局：島根県、出雲市、雲南市）

編集：（公財）日本生態系協会

【連絡先】

雲南市政策企画部地域振興課

〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521番地1

TEL：0854-40-1013



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。